

第15回目の「まるやまさんぽ」は、おとぎ話に出てくるような素敵な洋菓子を販売している「アニバーサリー 札幌円山店」をご紹介します。店内のショーケースには可愛らしいケーキ、棚には美味しそうな焼き菓子が販売され、その場で食べられるイトインスペースもあります。

人気があるのは「円山ロール」やデコレーションケーキ。「円山ロール」は1カットから販売しており、2種類のクリームと、しっとりもちりした生地が相性ぴったり!!ちょっとしたお土産にと購入される方が多いそうです。デコレーションケーキは少し豪華にプレゼントしたい時に嬉しい1~2人用の小さめサイズからあります。

オーダーメイドケーキも注文可能で、水色や黄色のクリーム、動物や車の形のケーキなど様々な要望に対応して下さいます。4日以上前のご予約が必要ですが、対応できない場合もありますのでお早めに!まさにアニバーサリー(記念日)の思い出に残るケーキを注文してみるのはいかがでしょうか♪



## アニバーサリー 札幌円山店

住所/札幌市中央区北1条西28丁目6-1  
TEL/011-613-2892  
営業時間/10:00~19:00 定休日/月曜・第二火曜・不定休あり



11月12日(土)南区真駒内で活動されているコーラスグループ「コール・ハルニレ」の皆さんによるロビーコンサートを開催しました。ギター伴奏に合わせて懐かしい童謡や歌謡曲の歌声が響き渡り、会場の皆さんの歌声もハーモニーとなって盛り上がりました。中でも「上を向いて歩こう」では大きな手拍子で会場は一体感に包まれました。元気が湧きあがってくるような音楽の力を感じる楽しいひとときとなりました。



札幌にも本格的な冬がやってきましたね。あっという間に2016年も終わり、2017年を迎えました。皆様お正月にはいかがお過ごしでしたか?私はお雑煮をたくさん食べました。まだまだ寒い日が続きますが、お身体にはお気を付けてください。



お気軽にお問い合わせ下さい!

すべての  
お問い合わせは

郵便

〒064-8557  
札幌市中央区円山西町4丁目7-25  
札幌西円山病院 地域連携推進室内  
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

電話 (011) 644-1380  
FAX (011) 642-4347

# にしまるやま通信

発行日 2017.1.1

No.102

## 2017年 年頭所感



医療法人溪仁会 札幌西円山病院  
浦 信 行 院長

札幌西円山病院は、ますます多様化する高齢者医療のニーズに応えるため、昨年度から病院・病棟機能として「癌・看取り・認知症・神経内科」診療の強化を掲げております。これらの医療分野は高齢化に連動して一層強く求められるものです。そのための専門医師の確保と、対応できる病棟にするための改築や検査機器の導入、そして各職種のスタッフの育成を逐次進めています。

その第一段階として昨年4月に、9名の神経内科医を迎えて神経内科総合医療センターを開設しました。これまでの高齢者慢性期医療の枠にとどまらずに、神経内科疾患全般の医療を展開するものです。そのための外来機能や検査機能の充実を図った結果、札幌市全域だけでなく、他の市町村からの受診も増えつつあります。また、神経内科疾患は急性に病状が進むことがあるため、即時入院の体制も立ち上げまし

た。より一層の受け入れ体制を作って、この分野のニーズに幅広く対応する予定です。

認知症に関しては精神神経科の常勤医を中心に認知症ケアチームを組織し、入院患者さんの認知症やせん妄への対応、外来での認知症診療を立ち上げました。認知症を合併している患者さんでも、当院での診療が必要な方には、出来るだけお世話をさせて戴くための体制を作りたいと考えたからです。

癌の診療に関しては、まず血液の癌を中心に診療するため、血液内科の医師を中心に体制の確立を急いでいます。その先には緩和ケアを含む終末期医療があります。看取りは当院に求められる重要な機能の一つであるため、今までも実績を積み重ねてきましたが、癌患者の受け入れに連動した緩和ケアを中心とした看取りの体制も充実させるため、医師だけではなく他職種の複数の職員で研修を進めています。

このような取り組みを中心に、これまで以上に地域の医療ニーズにも応えていくために、職員一丸となって努力し、一歩一歩前に進んでいこうと思っています。

- 2017年 年頭所感
- 脳波検査・重心動揺計について
- 喫茶室ひまわり
- 認知症カフェ
- まるやま SUN-PO!⑮
- ロビーコンサート
- 編集後記

## \* \* 札幌西円山病院のご案内 \* \*

- 診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
- 病床数 760床(障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養型医療施設)

## 新しく導入した検査機器のご紹介

### 《脳波検査》

#### ●脳波検査とは？

人間の脳は、考えている時だけではなく眠っている時にも活動しています。脳が活動すると、脳の中には微弱な電気が流れます。その脳細胞の電気的変化を頭皮上に付けた電極で、記録して脳の動きを調べます。



#### ●検査では、どのようなことを行うのか？

ベッドに仰向けに寝て、頭に十数個の電極を取り付けます。静かな部屋で臨床検査技師の指示のもと、起きている時、目を開けたり閉じたり、深呼吸した時などの脳波を調べます。



脳の電気活動を電極からキャッチしているのだから、こちらから電気刺激を与える検査ではないため、ビリビリと電流を感じることはありませんのでご安心ください。

#### ●てんかんの診断に有用です

成人のてんかんは子どものてんかんより多く、60歳くらいから急激に増え、そのほとんどが症候性てんかんです。認知症に似た症状が起きるため、アルツハイマー病と誤って診断されている人も多く、アルツハイマー病の薬は無効で、抗てんかん薬を服用すれば80%は症状が軽快します。てんかんは画像検査では診断できない機能的疾患になります。症候性てんかんの原因は、脳梗塞、脳腫瘍、頭部打撲などで、特にMRIで無症候性脳梗塞が指摘された人は要注意です。症状がひどくならない内に神経内科、脳神経外科などを受診し、早期診断が重要となりますので、心当たりのある方はご相談ください。

### 《重心動揺計》



#### ●重心動揺計とは？

体の重心の位置や前後左右のバランス具合を調べる検査機器になります。直立姿勢における足底圧を(写真)の変換器で検出することで、めまい・平衡(バランス)障害を体の揺れとして捉えてコンピューターで解析します。

#### ●検査で分かることは？

めまい障害の有無や程度を測るなど、症状の客観的評価を行うとともに、病巣診断にも役立ちます。さらにリハビリにおいては評価に加えて、効果を検証する手段として使用します。

## 喫茶室ひまわり

院内で運営されている喫茶室「ひまわり」についてご紹介させていただきます。

喫茶室「ひまわり」は当院のボランティアグループ「銀の舟」の活動の一環として行われており、運営はボランティアの方に行って頂いております。

ドリンクは下記の表の通り全8種類全て無料でご提供させて頂いており、ドリンクにクッキーや和菓子などのお菓子も一緒に付いてきます。連日多くの患者さまにご利用いただいております、ボランティアの方も患者様とお話しをしたりすることを楽しみにしていらっしゃいます。



- ◆患者様と一緒に来られたご家族様も無料となります。
- ◆一人2杯まで無料です。
- ◆営業時間は毎日10:30~12:00(年末年始を除き、土日祝も営業)



### 認知症カフェ (スマイルカフェ)

当院では、月に1回、認知症の方とご家族、地域の方を対象に認知症カフェ(名称:スマイルカフェ)を開催しております。お飲み物の提供のほか、認知症についてのミニレクチャーや体験コーナー、相談会や認知症・介護に関するディスカッションを参加者の皆さまと一緒にいたします。

※当院のスマイルカフェは、札幌市の「認知症カフェ認証事業」認証カフェです。



会場/札幌西円山病院デイケア室(札幌市中央区円山西町4丁目7番25号)

時間/13:30~16:00 参加費/100円 ※全回とも同じ。

通算回	日時	プログラム	テーマ
第26回	1月21日(土)	ミニ講座1 ミニ講座2	訪問リハビリでの認知症ケア 在宅での認知症を取り巻く社会資源について
第27回	2月25日(土)	対談	認知症について語る(その1) ~ご家族の立場から~
第28回	3月25日(土)	講演	認知症について語る(その2) ~認知症対応型通所サービスの立場から~

【お問い合わせ先】 電話:011-642-4121(代表) 担当:企画課・藤田、稲垣  
メール:fujita-tor@keijinkai.or.jp